

練習船・日本丸 シンガポールへ向け出航
93 人の生徒が遠洋航海へ

冷たい雨が降る 1 月 6 日の午前中、神戸港に着岸中の練習船・日本丸で神戸市在住の小学 4 年生以上を対象に船内見学会が行われた。その後、午後 1 時に日本丸の遠洋航海出航式典が開催され、多くの家族や関係者が見守る中、93 人の実習生を乗せた練習船・日本丸が出帆した。

帆船の練習船・日本丸の遠洋航海出航式には、本組合の浦隆幸関西地方支部長が来賓として出席した。この遠洋航海は富山高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、大島商船高等専門学校、広島商船高等専門学校、弓削商船高等専門学校、5 校の実習生 93 人（男子実習生=71 人、女子実習生 22 人）が乗船し、一路シンガポールを目指し、その後東京港に帰港する予定。

式典では国土交通省海事局長を始め、神戸運輸監理部長、その他関係者一同実習生へ向けた激励のメッセージを送り、続いて神戸観光親善大使から船長と機関長、そして実習生代表者へ花束が贈呈された。

練習船・日本丸の屋野晶船長は「厳しい航海が予想されるが、実習生たちを預かり、精神的にも技術的にも成長した姿で必ず帰ってくることを約束致します」とあいさつした。

式典が終わると実習生は、出航スタンバイの配置につき、銅鑼の音とともに、オールラインレッコ、タグラインがゆっくり引かれ離岸した。

出航の際は実習生による登舷礼が行われ、岸壁から見送る家族は「ごきげんよう」の声で UW 旗を振りながら安全航海を見送った。

遠洋航海に出発する実習生の姿は、期待に満ちあふれており、仲間と長い航海を乗り越え、チームワークを学び、優秀な船員となることが期待される。

「海員だより」